株式会社ピリカ

採用候補者向け資料

2026.11

Pirika

01. 会社概要

02. 私たちが向き合う課題

03. 私たちの取り組み

04. 組織・カルチャー

05. 採用情報



世界はきれいな方が良い

私たちピリカは、ごみ問題をはじめとする地球環境の
汚染や破壊に立ち向かい、世界をきれいにする会社です。

※「ピリカ」はアイヌ語で「きれい」「美しい」という意味です

Purpose

科学技術の力で
あらゆる環境問題を克服する

Mission

2040年までに
自然界に流出するごみの量と
回収されるごみの量を逆転させる

Pirika

社名	**株式会社ピリカ** ピリカ＝アイヌ語の「きれい」に由来
設立	2011年11月21日
代表	小嶌 不二夫（代表取締役）
所在地	東京都千代田区九段北1-4-7-802
事業内容	ごみ拾いSNSピリカの開発・運営 ごみ分布調査サービスの提供 ごみのリサイクル 環境問題解決のための調査・研究

2025年3月 経済産業省のスタートアップ
支援プログラム『J-Startup』に選出

J-Startup



代表取締役

小嶌 不二夫 Kojima Fujio

7歳の時に読んだ本の影響で環境問題の解決を志す。
大阪府大で環境工学、京大院でエネルギー経済を専攻。
大学院時代に世界を一周し、ごみの自然界流出問題に着目。
帰国後にごみ拾いSNS ピリカの開発を開始。
2011年に京大を中退し、会社を設立。

環境スタートアップ大賞 環境大臣賞 受賞
MIT Innovators Under 35 Japan受賞

国内外で認められる取り組みに



環境スタートアップ大賞
環境大臣賞
（2021）



Appleの
AppStoreで特集
（2022）



日経ソーシャルビジネス
コンテスト 大賞
（2023）



Google Play の
#WeArePlay で特集
（2024）

その他、Eco Summit 2013 金賞、掃除大賞2016「社会貢献賞」、掃除大賞2018「環境大臣賞」、Orange Impact Challenge優勝、Rise Up Festa最優秀賞、Amazing STARTUPS 選出、Industry Co-Creation（ICC）サミット KYOTO 2022デザイン & イノベーション アワード グランプリ 、ソーシャルグッド・カタパルト　2位、Google Play ベスト オブ 2022　アプリ社会貢献部門　大賞受賞、Deep Tech Venture of the Year 2024、SDGsジャパンスカラシップ岩佐賞「環境の部」受賞 など多数

01. 会社概要

02. 私たちが向き合う課題

03. 私たちの取り組み

04. 組織・カルチャー

05. 採用情報

ごみ（特にプラスチック）の自然界への流出が無視できない規模に

世界規模で人口と豊かさが増加し、製品使用に伴うごみの流出量が指数関数的に増加し、無視できない規模に

毎年、約820万トンのプラ廃棄物が管理できておらず、その一部が自然界に流出していると見られている　※

※2022年プラスチック汚染条約の議論開始において参考データとして活用されたOECDのデータを参照



海岸に打ち上がった大量のごみ（ガーナで撮影）



水路に不法投棄されたごみ（埼玉県で撮影）

ごみの流出による悪影響は、生態系・産業など広範囲にわたる

生態系や産業に対しては既に実害が発生。 プラスチック摂取による**人体への影響も懸念されているが、結論は出ていない**（実験動物の癌化などは確認済み、他の有害物質と比べて有意にリスクが大きいかは未確定）。

生態系への影響

プラスチック製の容器、袋、網などを誤飲したり、体に絡まるなどして、最悪の場合、死に至るケースも。
（渡り鳥の死骸と、その胃から検出されたプラスチック）



人体への影響

プラスチックに付着する化学物質が人体に悪影響を及ぼす可能性が指摘されている。（特に直径5mm未満のマイクロプラスチックは人体に取り込まれる懸念が大きい）



産業への影響

海洋生物への影響による海産物の漁獲量の減少・品質低下、船舶の航行の阻害などにつながるだけでなく、関連する観光業への影響も懸念されている。



気候変動への影響

プラスチックは日光や水による劣化で温室効果ガスを排出。海中ではサンゴの生育に悪影響を及ぼす等、二酸化炭素濃度増加に繋がる可能性が示唆されている。



01. 会社概要

02. 私たちが向き合う課題

03. 私たちの取り組み

04. 組織・カルチャー

05. 採用情報

ピリカが提供する「ごみの流出対策サービス」

ごみの流出問題のあらゆるポイントを 一気通貫で解決



Pirika



Takanome



Consulting



Recycle

回収	調査	流出抑止	資源化
ごみ拾い促進 プラットフォーム	ごみ分布 調査サービス	ごみの流出抑止	ごみの資源化
ピリカ	タカノメ	コンサルティング	リサイクル

ごみ拾い促進プラットフォーム

ピリカ

Pirika



ごみ拾いを楽しく、続けやすく！
世界最大のごみ拾いSNS

SNSピリカを活用した、清掃活動「見える化」サービス

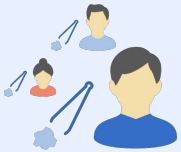
ごみ拾い促進プラットフォーム「ピリカ」は、ごみ拾い活動を記録・共有することで行動を「見える化」し、
その取り組みを社会へと広げ、活性化していくためのプラットフォームです。



137の
国と地域で利用



300万人の
参加者（のべ）



4.7億個の
ごみを回収



個別の清掃活動を集約し、見える化。活動の活性化を支援

自治体版

地域清掃活動の見える化・活性化の支援や
不法投棄通報のためのサービスを提供。

主な導入先：岡山県、東京都北区、網走市、茨城県 他多数

企業・団体版

企業・団体の清掃活動を見える化。組織内タイムラインで
メンバー間のコミュニケーションや社会活動活性化にも活用可能。

主な導入先：サッポロホールディングス、Rethink PROJECT by JT 他多数



見える化ページ

ごみ分布調査サービス

タカノメ

Takanome



ごみの分布を見える化！

効果的な対策の効果検証・立案に

画像解析技術を活用した、ごみの分布状況可視化サービス

スマートフォンで道路を撮影し、画像解析することで、ポイ捨てごみや不法投棄の分布調査を行うサービスです。
ポイ捨て・不法投棄ごみの実態把握や、データを活用したごみの流出抑止に貢献しています。

調査	解析	データ活用
スマートフォンで路上を撮影	画像解析によりごみを検知	ごみの分布状況を可視化







調査データをもとに、実態に即した効率的かつ効果的な対策立案へ

タカノメ自動車版：広域調査

車とAIの活用により、これまで不可能だった広範囲のごみ分布調査が可能に。さらに、官民連携で不法投棄パトロール制度の構築・運用も実現できます。

車両による撮影
（自治体、民間企業）

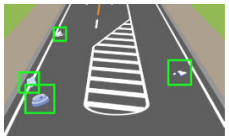


・自治体や企業の車両にスマホを設置（ピリカから貸出）
・他業務のついでに調査が可能

調査機器提供

撮影データ

AIによる分析
（ピリカ）



・AIによる1時間ごとの自動解析
・ペットボトル以上のごみを検知
・モザイク処理による個人情報保護

システム利用料

ごみ分布データ

データの確認・活用
（自治体、ピリカ）



・不法投棄レポートを提供
・ポイ捨てごみはボランティアで回収（SNSピリカ連携）

国内実績：廃棄物・物流・交通業界を中心に企業や自治体で採用され、100台以上の車両に調査端末を搭載。

海外実績：JICAや三井物産と連携し、ベトナム、アメリカ、ペルーなど5カ国で自主調査を実施。
オープンソースのストリートビュー画像を活用した世界規模のごみ分布調査網構築も進めている。

タカノメ徒歩版：詳細調査

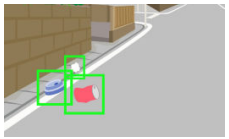
車の通れない狭い道や歩道などを対象としたエリアでの調査が可能です。環境重点区域の定点観測、散乱ごみ対策の効果検証などに活用されています。

人による撮影
（ピリカ、企業、自治体）



・ピリカ、またはご依頼主様側で対象エリアをスマホで撮影

画像解析
（ピリカ）



・独自システムでごみの種類、数量、検出地点等を解析

調査費用

解析データ、レポート

データの確認・活用
（企業、自治体、ピリカ）



・解析結果データを提供
・分析レポートをもとに対策検討

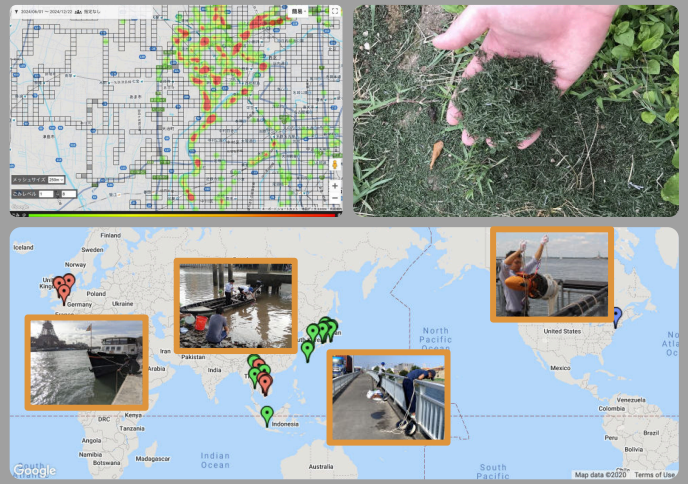
実績：渋谷区 路上散乱ごみ調査、富士吉田市 ごみ箱設置前後でのごみ散乱状況比較調査、江戸川区 小岩駅周辺 喫煙所設置前後での ごみの散乱状況比較調査

ごみの流出抑止

コンサルティング



Consulting



ごみの流出実態調査

流出抑止のための対策立案等

ごみ・環境分野の入札に積極参加。IT活用、現地調査など幅広く対応

自治体から公募されるごみ・環境分野の入札案件にもピリカは積極参加しています。ITを活用した事業のコスト削減・効率化のほか、現地調査を含む多様な業務形態の案件まで幅広く対応しています。

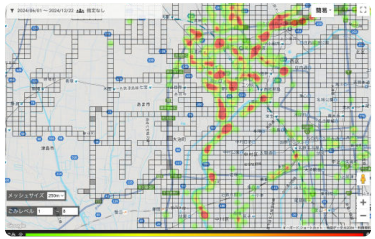
例：河川ごみの流出実態調査事業

調査地選定
タカノメデータ(路上ごみ分布データ)を用いて、対象となる河川近辺の街中における散乱ごみの密度が高い地点を特定。

実態調査
選定した調査地点において、プラスチックごみ等の流出実態調査を実施。

分析
各地点におけるごみの量・種類と地理的条件や河川の状況等から、発生源を分析

対策
発生源に応じた効果的な流出防止対策について検討し、具体的な手法を提案



実績：熊本県河川ごみ調査、鳥羽市海岸漂着ごみ流出実態調査、大阪府ビーズの流出状況等に係る調査及び啓発ツール等作成業務、磐田市 人工芝流出対策調査、山梨県河川マイクロプラスチック調査、農水省プラスチックを使用した被覆肥料の実態調査、浜松市議会議員 鳴湖におけるプラスチックごみ調査業務他多数

MPs対策として、実態把握～対策立案・課題解決まで提供

1. マイクロプラスチック流出の実態把握・影響範囲調査

各品目（人工芝、被覆肥料、発泡ビーズ等）ごとに、流出の発生状況や環境への影響範囲を現地調査やヒアリングで把握

2. 流出対策技術の導入と効果検証

排水溝フィルター、農地での流出防止ネット、収集車でのビーズ流出抑制策などを実装し、捕捉量や削減効果を計測

3. 運用ガイドラインや啓発資料の作成

自治体・農業法人・廃棄物処理事業者・スポーツ施設など関係者ごとに、日常的な運用ルールや啓発資料を作成





ごみの資源化

リサイクル

Recycle



ごみを資源として活用
原料・製品にリサイクル

リサイクル困難物（特にポイ捨て・漂着ごみ）に新しい出口を作る

ポイ捨て・漂着ごみを再資源化できる仕組み作り → 回収量増加

- ポイ捨てごみや海岸漂着ごみなど、これまでリサイクルが困難だったプラスチックごみを回収・再資源化できる仕組みを作る
- ごみを原料として買い取り、回収費用を負担できる仕組みを構築



ポイ捨て・漂着ごみ由来の製品を製造 → 問題への意識向上

- ごみで作られた製品を通じて、ごみ問題に興味を持ちづらかった方々にも、問題や取り組みに興味を持ってもらう
- ベンチ、買い物かごなどを製造（公園、コンビニ等に設置）

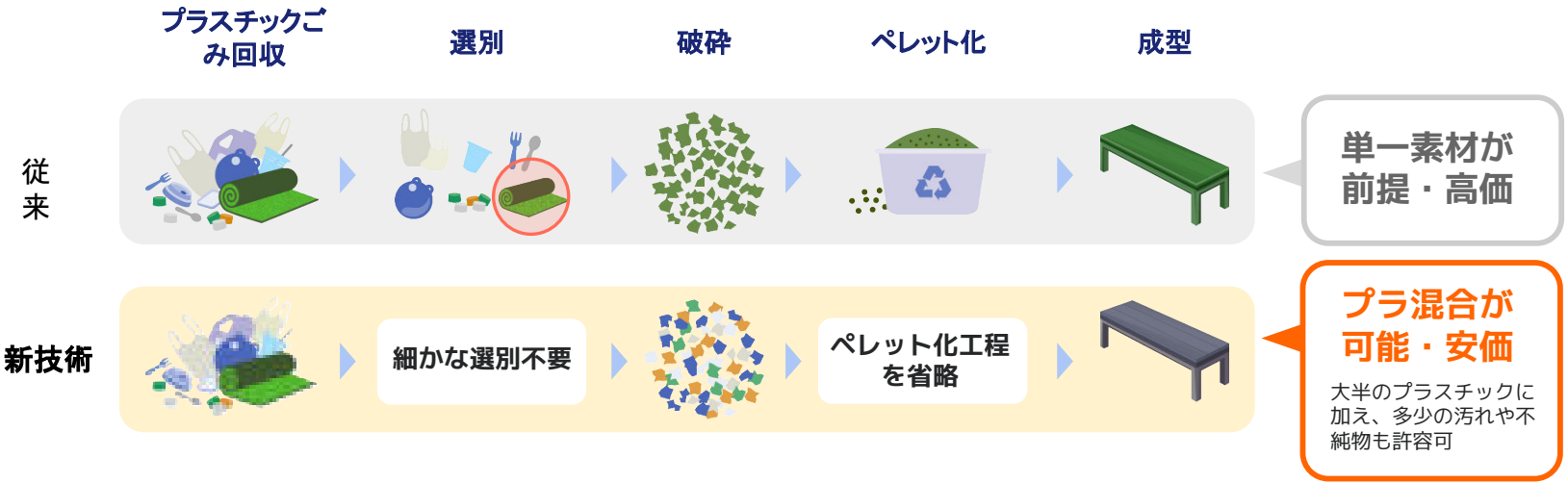


日本財団、一般社団法人日本先端科学技術教育人材研究開発機構（JASTO）、株式会社リバネスが共同実施する「プロジェクト・イッカク」の一環で技術を開発することができました

PROJECT IKKAKU　日本財団 海と日本 PROJECT　CHANGE FOR THE BLUE 海の未来を変える挑戦　JASTO 一般社団法人日本先端科学技術教育人材研究開発機構　Leave a Nest

リサイクル困難だった雑多なプラスチックごみが再資源化可能に

複数のプラスチックの種類が混在し、汚れが付着しているためリサイクルが困難だったポイ捨てのようなごみから、板材を製造する技術を実証。



ごみの地産地消を実現、各地でリサイクル製品の設置が進む

これまでの制作実績を元に、25年度は各地でリサイクル製品の設置が進んでいます。ベンチだけでなく、テーブル、ダストボックスなどへのリサイクル材の活用も進めてまいりました。

・東京都社会課題解決型スタートアップ支援事業
・多摩イノベーションエコシステム促進事業
・山口県「海洋プラスチックリボーンベンチ」
・一般社団法人 F・マリノススポーツクラブ・横須賀市　SHIBA-UP事業
・あいちスポーツイノベーションコンソーシアム AiSIA



新規事業

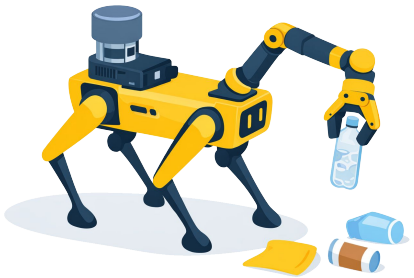
New business



ごみ・環境分野における
新たな事業創出

ピリカではごみ・環境分野の新規技術・事業を常に開発しています

ごみ回収ロボット



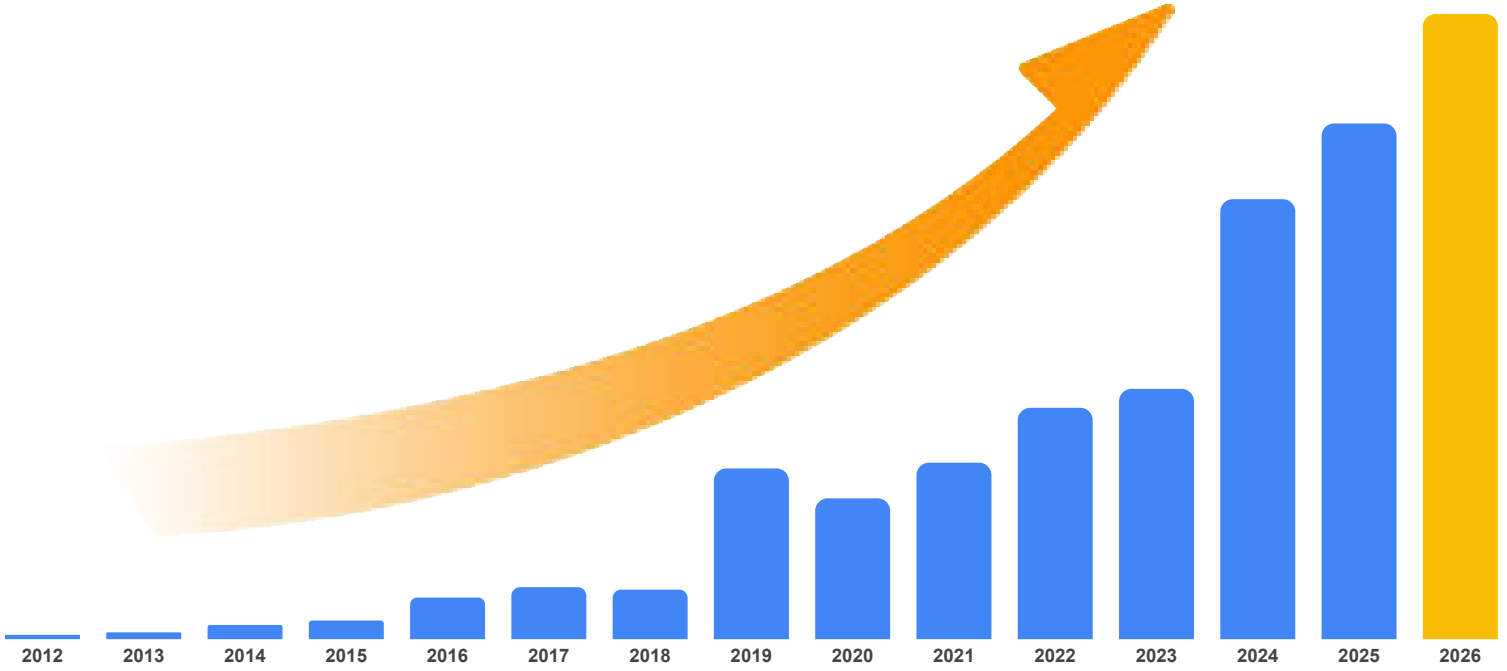
環境行政効率化AI



環境技術・事業開発支援



環境問題解決に繋がる事業のみ行うという制約の中、ピリカは着実に売上を伸ばしてきました。
世界一の環境問題解決組織を目指し、これからも事業規模の拡大に取り組んでいきます。



※1-15期 の売上推移

01. 会社概要

02. 私たちが向き合う課題

03. 私たちの取り組み

04. 組織・カルチャー

05. 採用情報



代表取締役
小嶌 不二夫 KOJIMA Fujio

幼少期に読んだ本の影響で環境問題解決を志す。京都大学大学院時代に世界を一周し、ごみの自然界流出問題に着目。2011年に京大院を中退し、株式会社ピリカを設立。



取締役, サービス事業部長
村越 隆之 MURAKOSHI Takayuki

2011年にグーグル株式会社（現グーグル合同会社）に入社。Datorama Japan 株式会社（現 株式会社セールスフォース・ジャパン）、Jellyfish Japan 合同会社を経てピリカに参画。



管理部長
三井 悠 MITSUI Yu

早稲田大学で心理学、教育を専攻。在学中にオンライン教育を提供する教育ベンチャーを創業し、財務会計・人事などを担当。ピリカには創業時から関わり、2015年から本格的に関与。



コンサルティングチームリーダー
土村 萌 TSUCHIMURA Megu

大学院で海洋プラ研究後、新卒で建設コンサル（環境部）へ入社。一時、異業種で働いたことをきっかけに環境問題解決への思いを再認識しピリカへ入社。省庁/自治体コンサルを担当。



サービス事業部
朝緑 高太 ASAMIDORI Kota

作業支援ロボット（マッスルスーツ）のパイオニア企業であるイノフィスにて、営業として従事。家業の再興（日本酒の酒蔵）も目指してます！



開発部
能代 光人 NOSHIRO Mitsuhito

フルスタックエンジニアとしてキャリアを開始し、SIerでWebアプリ開発やプロジェクトリーダーを経験。その後、受託開発部門の責任者として組織マネジメントに従事。2023年に参画。



サービス事業部
箕田 悠里 MINODA Yuri

15年以上のERPパッケージ企業勤務を経て、子供の未来のため環境問題に挑戦しようと入社を決意。自治体・企業・団体様のピリカ・タカノメ活用を通じて問題克服に向き合う日々。



開発部
九鬼 正人 KUKI Masato

大学院で医療情報システムの研究開発に参画、前職にてカーエレ機器のソフト開発に従事。SNSピリカのAndroidアプリリニューアルからピリカに参画し、現在は調査プロダクトのソフト開発に従事している。



サービス事業部
森 由有貴 MORI Yuki

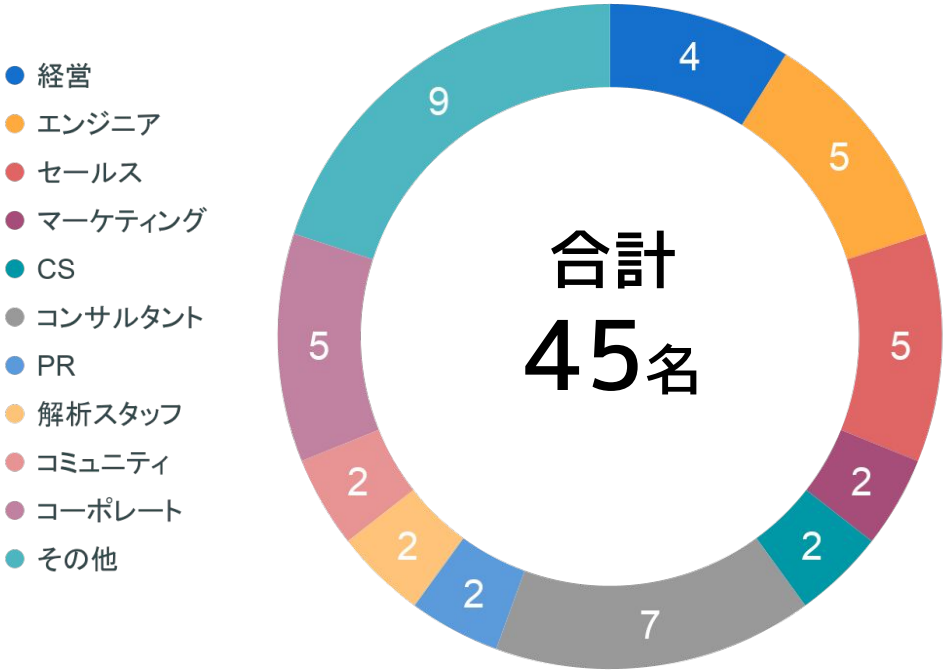
多業界で新規事業を推進し、直感を戦略へ落とすマーケティング担当。なぜ人はごみを拾うのかという問いから参画し、行動の背景を捉え顧客理解を起点に価値へつなぐ。



管理部
柳沼 尚子 YAGINUMA Naoko

NPO、スタートアップ、上場企業等でバックオフィスを担当。2019年のアルゴア元米国副大統領の講座で環境問題に関わりたいと思い、Twitter（現X）でピリカの採用情報を見つけて入社。

職種ごとの構成

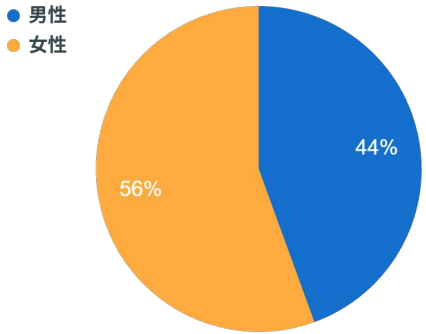


雇用形態ごとの構成

- フルタイム　19名
- パートタイム　16名
- インターン　7名
- 業務委託　3名

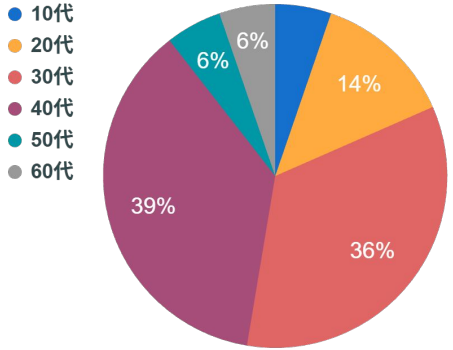
性別

女性比率が5割以上。



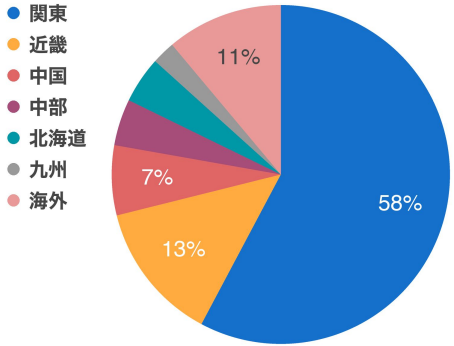
年代

10代から60代まで
幅広い世代が活躍中。
平均年齢39歳。



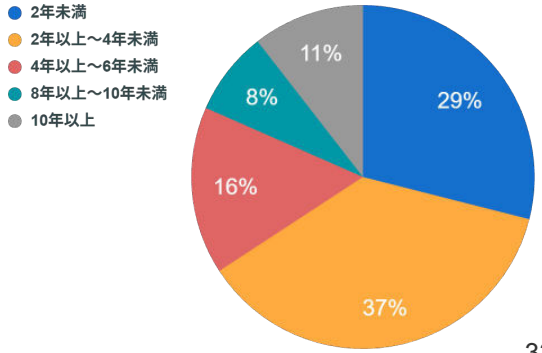
居住地

コロナ前からリモートを
前提とした働き方です。
全国各地、海外の方も
います。



勤続年数

平均勤続年数は
4年1か月です。



ピリカでは組織としてのバリュー（大切にしたい価値観）を8つ定義しています。

1. すべては環境問題解決のために

ピリカは環境問題を解決し、克服するために存在する組織です。ピリカにおけるあらゆる活動や意思決定が環境問題解決に繋がっていることを常に意識し、常に問い続ける必要があります。

2. 顧客価値「も」追求する

ピリカにとって顧客は環境問題を共に解決する重要なパートナーです。
もし問題解決と顧客価値が相反する場合、安易にどちらかを選ぶのではなく、敢えて二兎を追う道を模索します。

3. 当たり前の基準を高める

ピリカは環境問題解決の領域で世界一を目指しています。メンバーに対しても、能力、成果などの面で高い基準の「当たり前」を求めますし、基準自体も日々アップデートされていきます。

4. すべてを明確に

私たちは5W1Hや定量情報ですべてを明確にします。担当者や計画、根拠などが曖昧な時は、それらを明確にするための率直な質問と意思決定を推進します。

5. たたき台を作る人が一番偉い

何かを作ったり、提案したりするには、誰かがたたき台を作る必要があります。一見、賢そうな指摘や反論は、実はたたき台が無ければ生まれないもの。たたき台を作れる勇気ある人を私たちは心から尊敬します。

6. 徹底的に事実に基づく

まだ誰も解決できていない環境問題に挑む際、私たちにとって一番の拠り所となるのが事実です。ピリカは、空気でも、思い込みでもなく、事実に基づいて意思決定し行動する組織です。

7. 小さく、はやく、たくさん試す

私たちは、未検証の案に確信が持てるほど自分達が賢くないことを理解しています。実験を安く小さく設計し、はやくたくさん試した上で、有望だと判断した案を実行することで、一見すると無謀な、でも自分達は有望だと思える道を進みます。

8. 自ら責任を負い、責任を果たすことで信頼を築く

環境問題の解決は、社会からの要請があるからではなく、私たち自身の意志でやっていることであり、そう思うからこそ本質的な問題解決ができるとピリカでは考えます。社会においても、会社においても、責任を自ら引き受け、責任を果たせるようにベストを尽くしましょう。信頼は後からついてくるはずです。

01. 会社概要

02. 私たちが向き合う課題

03. 私たちの取り組み

04. 組織・カルチャー

05. 採用情報

採用プロセスは通常0.5〜1.5ヶ月かけて実施します。各プロセスの順番は前後する場合があります。

応募	面談	スキル チェック	Webテスト	リファレンス チェック	内定
フォームよりご応募ください。 **応募時に履歴書・職務経歴書等も添付いただけるとスムーズです。**	オンラインまたは対面にて面談を実施させていただきます。 応募職種・ポジションにもよりますが、1〜3回が目安です。	応募職種に応じて、模擬商談、論述、コーディングテストなどの、実務スキルを測るための選考を実施させていただきます。	学力や性格等を測るWebテストを受験いただきます。 所要時間の目安は合計2時間ですが、連続ではなく、15分~30分ごとで区切られておりますので、内容ごとに受検いただくことも可能です。	一緒に働かれたことのある方を2名ご紹介いただき、弊社から電話インタビューを実施させていただきます。 ※正社員希望者のみ	入社いただくに当たっての期待役割や条件などを文章化し、オファー面談を実施させていただきます。 内容に双方が合意できたら内定となります。

働き方・環境

- フルフレックスタイム勤務制度（標準労働時間1日8時間/コアタイムなし）
- リモートワーク（部門により週1程度の出社あり）
- ワーケーションなどオフィス、自宅以外での勤務可（スマートワーク制度）
- 土日祝休み、年末年始休暇、夏季休暇、特別休暇
- 入社時特別休暇（3日）
- 年次有給休暇
- 産前産後休暇、育児・介護休業
- オフィス内は全面禁煙（建物内に喫煙室なし）

福利厚生

- 通勤交通費支給
- 健康診断
- 各種社会保険完備
- ベビーシッター費用補助

利用サービス
（一部抜粋）

- Slack（社内コミュニケーション）
- Google Workspace（メール・ビデオ会議・書類作成・データ保管・他）
- Zoho CRM（営業管理）
- freee（会計、人事労務、工数管理）
- AIツール（Claude、ChatGPT、Gemini、Notta・他）
- Bitwarden（パスワード管理）
- ごみ拾いSNSピリカ企業版（環境活動）

機器類

- パソコン：会社から貸与（セキュリティ要件を満たせば個人所有のPCも利用可）
- 携帯電話：個人で用意（電話代は電話アプリを通じて負担）

ピリカでは、生成AIを業務と開発の前提として活用しています。

業務に組み込まれた AI	議事録の作成、公募案件の探索、商談の記録など、10以上のAI機能が日々の業務で動いています。
開発の標準になった AI	主要プロダクトの開発に Claude Code を活用。リポジトリごとにAI向けの開発ガイドを整備し、設計からレビューまでAIと進めています。
全員で安全に使う仕組み	ガイドラインの制定、社内向けAIツールの配布、活用事例の共有や勉強会を通じて、職種を問わず活用を広げています。

利用技術

フロントエンド

- TypeScript
- React
- NEXT.JS

アプリ

- Swift
- Kotlin

サーバー/インフラ

- python
- Google Cloud
- Firebase

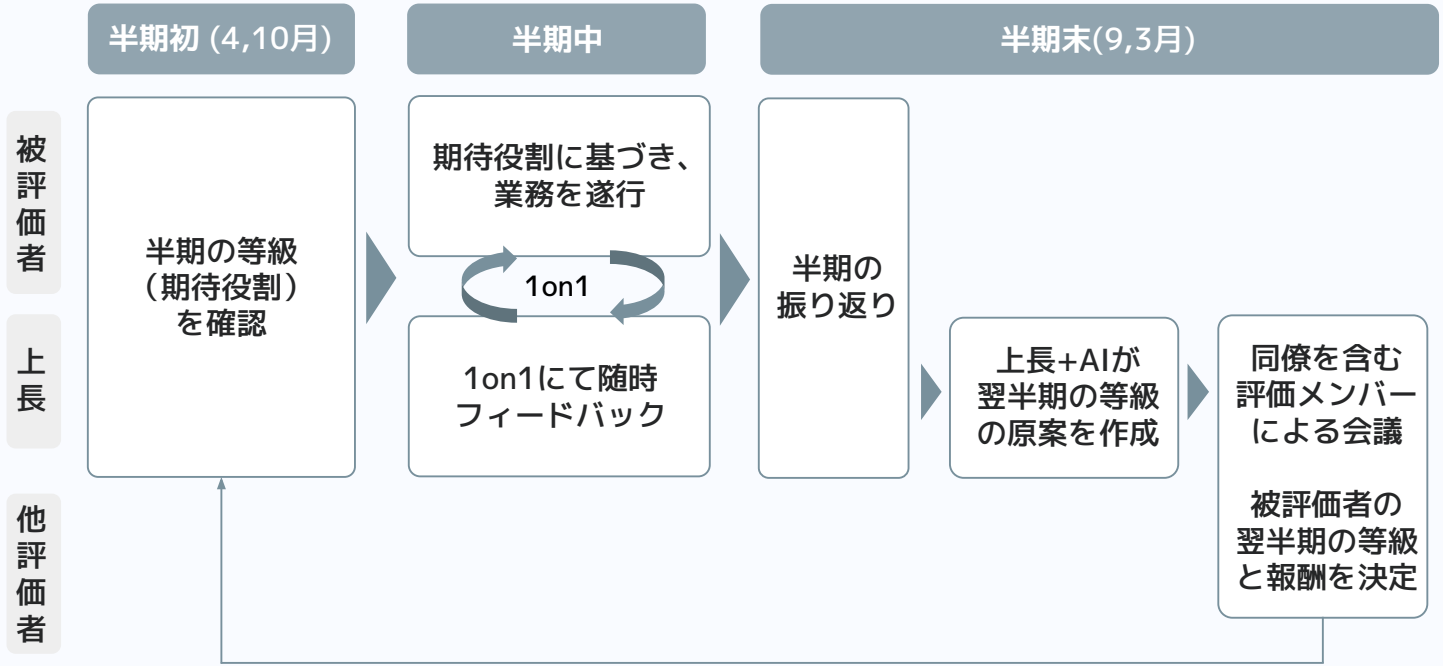
機械学習/画像解析

- PyTorch
- OpenCV

生成AI

- Claude
- ChatGPT
- Gemini

期中は1on1を通じて、目標の進捗やパフォーマンスを確認しフィードバックを行います。
半期ごとに、パフォーマンスや役割の発揮状況を踏まえ、翌半期の等級と報酬を決定します。



ピリカのことをより知っていただくために、下記のページもぜひご覧ください！

- **ピリカの事業概要について**
  YouTube動画（約10分）https://youtu.be/Qc-v2BHrcWo

- **ピリカの事業と歴史について知る**
  10周年記念 YEAR Book https://yearbook.pirika.org/?pNo=1

- **ピリカの開発部について知る**
  Pirika Developers Blog https://devblog.pirika.org/